



総理官邸で川越のまちづくりへの取り組みを発表しました

6月20日、内閣官房主催で、地域の活性化に成功した先進的な自治体の取り組みを紹介し、顕彰するため、「地域のお宝発掘自慢大会 ～ 頑張る地域 大集合 ～」が総理官邸で行われました。川越市は、まちづくりについて、パネル展示の説明と事例発表を行いました。

パネル展示は、全国20の自治体が行った取り組みを紹介したものです。川越市は、「歴史・文化を生かしたまちづくり」について、安倍晋三内閣総理大臣・塩崎恭久内閣官房長官・渡辺喜美内閣府特命担当大臣に私が説明をしました。

事例発表は、パネル展示をした自治体から選ばれて、川越市を含め4市が行いました。市民の皆さんと一体となった取り組みと、今後活用が期待される鏡山酒造跡地についての発表を行いました。

安倍総理からは、「地域再生は、地域の皆さんのアイデアを国が応援していく仕組みづくりをしていくことだと思います。『地域の活力なくして国の活力はない』という考えを基に、『美しい国日本』にしていきたいと思っています。それぞ

れの地域で美しい地域づくりのために、力を尽くしていただきたい」と、ことばを頂きました。

現在市では、観光客1,000万人誘致に向けた取り組みを進めております。観光客の皆さんに対する、おもてなしの精神を向上させる「ご当地検定」の促進や、リピーター客の増加を推進するための「川越ファン」の確立などを中心に、観光客誘致の展開を考えております。今回、この機会を得られたことは、市の取り組みが、国から一定の評価を得た結果であり、光栄なことと思っております。「歴史・文化を生かしたまちづくり」の事例は、地域活性化に成功した事例として、安倍総理を通して紹介されることにより、新たな観光資源の発掘へとつながるものと考えております。

6月1日には、外国人観光客誘致を促進する「観光ルネサンス事業」の認可を国から頂きました。国際観光都市も視野に入れ、(社)小江戸川越観光協会をはじめ、産・学・公、市民の皆さんと協働による川越の観光振興を図るとともに、より住みやすいまちになるよう、観光を活用したまちづくりに努めていきたいと考えております。

川越市長 舟橋功一



安倍総理・塩崎官房長官・渡辺特命担当大臣に川越市の取り組みを説明する舟橋市長（内閣府提供）